

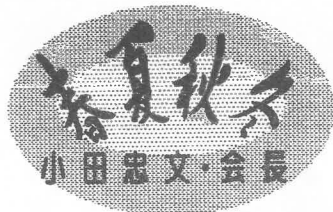
吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28,705 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7Esskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/山本富雄
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3-28845



目次

コラム	会長・小田忠文	……	2頁
	最近の主な活動	……	—
活動報告	生きもの委員会	……	3頁
春を食べる(七草試食会に参加して)	会報委員会	……	4頁
お知らせ「文化施設探訪」	まちなみ委員会	……	5頁
すいた市民環境会議は こんなことをやっています	会報委員会	……	6~7頁
	吹田操車場問題	……	8~9頁
	文化施設「見てある記」	……	10頁
地球温暖化防止	一人でなにができるか ①	……	11頁
	「自然と文化②」 開花前線 秋山こずえ	……	12頁



吹田貨物駅ア
セスに対し、す
いた市民環境会
議は2000年に「梅

田貨物駅の機能が移転されれば、梅田貨物線の必要性は少なくなる。少なくとも単線運行で処理が可能であろう。」という考えから高架道路案に対し「現在の線路を道路に変える」という地平案を提言し、取り入れられました。▲2002年には「線路をはがして自動車専用道路に変更できるのなら南吹田地域にトラックを出す必要はなく、そのまま神崎川を渡って大阪市に行く」という提案をしました。しかし今年のアセス評価書では採用され

ませんでした。不採用の理由は「協定がないから」というものでした。▲協定した時期には高架案しかなく、「高架道路用の橋脚を神崎川に作れない」ということが「南吹田地域にトラックを出す」と決めた主な理由だったと考えられます。▲「線路をはがす」という案を採用したのなら、トラックは敢えて南清和園で市内に出ることなく、鉄道敷地内で神崎川を渡ることが可能となります。そうすれば南吹田地域への環境負荷はゼロに近づきます。▲自動車専用道路のルートは今後50年以上は存続するでしょう。すいた市民環境会議は将来の市民生活に禍根を残さないような提案をしています。

最近の主な活動報告（12月26日～4月20日）

- | | | |
|-------|--------------------------------------|--------|
| 3月12日 | 文化施設探訪「ミスタードーナツカレッジと
スキュルチュール江坂」 | 参加者21名 |
| 3月13日 | 法然院「太陽光発電システム」見学 | 参加者 8名 |
| 3月20日 | 七草試食会 | 参加者20名 |
| 4月 9日 | ジャスコ協働ツアー 「神戸市立森林公園
神戸市人未来防災センター」 | 参加者42名 |
| 4月10日 | 文化施設探訪「メイシアター・平和祈念資料室・
アサヒビール」 | 参加者21名 |



第6回総会

日 時 2005年5月21日(土) 18時～19時
場 所 吹田市民会館 第四会議室(5階)

正会員はご出席をお願いします。やむを得ず欠席の場合は同封葉書の出欠欄を欠席とし委任状欄を記入の上、15日までに事務局宛ご提出ください。

表紙は語る

今回は旧岸辺市東村のまちなみをとりあげてみました。ここは「第二回吹田市都市景観賞特別賞」を受賞した見事な“まちなみ”です。受賞リーフレットから引用します。

古いしつらえの家が多く、瓦屋根の家並みや板堀が連なって残っており、歴史的な景観が保たれている。わずかに曲がりくねりながら続く道筋が通りの眺めに変化をもたらし、旧集落の面影をさらに楽しませてくれる。長いときを経てつくりあげられたまちなみを、地域の財産・吹田市の歴史的資産として保全・継承されていくことを期待する。

生きもの委員会 活動紹介

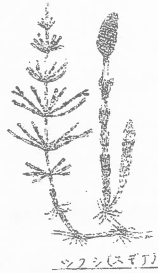
1. 七草マップ

2002年にスタートした「吹田版の七草調査」の結果は、「吹田の野草マップ」として集約しお届けすることができました。

完成記念打ち上げ会として「七草試食会」を3月20日に行いましたが、その結果は別途報告の通りで、ツクシなどの野草をおいしく頂きました。

マップへの集約段階で気づいたことですが、七草として選んだ37種の植物の「日本在来種と海外からの帰化種の季節毎のバランスがこれでよかったのかな」と反省しています。

今回の調査区画は51区画、調査種は37種、春15種、夏7種、秋15種の中でしたが、確認区画が20区画以下と少ない種は、下表でⅠごく稀、Ⅱ稀にランクされた8種、キキョウ〜コオニタビラコでした。



ツクシ(はぎ)II

草は、田圃の周りに思いのほか多く残っていたこと、調査種として春の草に追加したカラスノエンドウ・シロツメクサなど、狭い空地や荒れ地に強い種を選定していたことによると推定される。

2. 生きもの調査経緯

すいた市民環境会議はスタートした97年に、古木・大木調査に取り組んだことを皮切りに、毎年新しいテーマで吹田の自然を調べてきた。当初は会全体として、その後生きもの委員会が中心となった調査テーマは下記の通りで、マップなどの成果物で報告している。

- ①古木・大木調査 1997年
- ②ツバメの巣マップ 1998年
- ③ため池マップ 1998年
- ④四公園の生き物 2000年
- ⑤街路樹マップ 2001年
- ⑥鎮守の森調査 2002年
- ⑦吹田版七草調査 2004年

Ⅰ ごく稀 (吹田の絶滅危惧種)		Ⅲ 少ない		Ⅴ1 多い		Ⅴ2 非常に多い	
キキョウ	2	キツネノマゴ	23	スミレ	45	カラスノエンドウ	51
ウツボグサ	4	セリ	27	ナズナ	45	シロツメクサ	51
アキノタムラソウ	5	ネジバナ	30	ヒメオドリコソウ	47	タンポポ	51
ツリガネニンジン	6			ハコベ	48	ヨモギ	51
Ⅱ 稀 (吹田の希少種)		Ⅳ 普通		アレチヌスビトハギ	48	カタバミ	51
ワレモコウ	14	ヨメナ	33	クズ	48	ツユクサ	51
ミヤコグサ	16	ハハコグサ	35	ススキ	48	ヒメジョオン	51
ミゾソバ	16	ヒガンバナ	37	アキノノゲシ	49	エノコログサ	51
コオニタビラコ	19	ニワゼキショウ	40	オオイヌノフグリ	50	セイタカアワダチソウ	51
				スギナ	50	ヘクソカズラ	51
				ノゲシ	50		
				ホトケノザ	50		

季節ごとにみるとコオニタビラコが春、ウツボグサ・ミヤコグサが夏、残り5種は秋の草であった。

この結果、春の七草15種全部が確認できたのは51区画の中で15区画あり、14種の所が8区画、13種が14区画と、大部分の区画で春の七草が確認できた。一方、夏の7種全部が確認できたのは、ウツボグサが確認できた4区画のみであり、また、秋の七草15種が確認できた区画は一つもありませんでした。

この理由は、七草選定時にあまり確認できないと予想していたコオニタビラコが19区画で見つかるなど、歳時記に記された春の七

3. 野草観察会の案内

06年～07年は「10年後の古木・大木調査」を計画しており、05年は充電期間として調査は実施せず、七草調査で培った野草観察会を実施する。次回観察会予定は下記通り。

日時 6月5日(日)9:00~12:00

集合場所 北千里駅改札口

観察場所 阪急延長線予定地

目玉 吹田の絶滅危惧種「ウツボグサの群生を見る」

(平 軍二)

春をたべる

～七草試食会～

会報委員 山本富雄



3月20日(日)、七草試食会に参加した。

市役所(産業労働室)直轄の岸部神社前「ふれあい農園」に集まった人達は子供も含めて18名。主催者の生きもの委員会・平委員長はこのフィールドにはないだろうと思われるものを10種程度、千里緑地などから摘んできて、野草の説明の資料として使っていた。誠に細やかな事前の準備である。それらも合わせて、1時間程の間に20種の野草を調理用に用意することができた。

セイタカアワダチソウ*ヨモギ*ホトケノザ*ヨメナ*タネツケバナ*レンゲ*ナズナ
ノゲシ*タンポポ*ハルジオン*ハハコグサ*ヤブジラミ*ハコベ*セリ*ツクシ
コオニタビラコ*ヒメオドリコソウ*ノビル*スイバ・シロツメクサ の20種

※当日のメニュー※

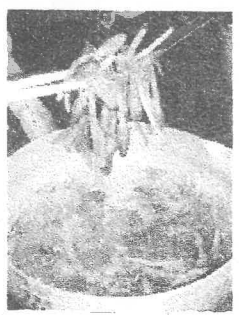
※天ぷら

- セイタカアワダチソウ
- ヨモギ ホトケノザ
- ヨメナ タネツケバナ
- レンゲ ナズナ セリ
- ハルジオン ハハコグサ
- ヤブジラミ ハコベ
- コオニタビラコ
- ヒメオドリコソウ

- ※油揚げと生しいたけとノゲシのおひたし
- ※タンポポ・シロツメクサ・ハコベのサラダ薄切りハム巻
- ※ノビルの酢味噌和え
- ※セリとノビルの胡麻和え
- ※セリとこんにゃくと人参の白和え
- ※スイバと和え物
- ※ハコベ・セリ・ツクシ入りチラシ寿司
- ※ツクシとナノハナのお吸い物
- ※ヨモギ入りホットケーキ



野草を摘んで



茹でたり



「天ぷら」にしたりして



「いただきまーす」

おしなべてどの料理からも新鮮な春の「香り」と「ほろにがさ」が伝わってくる。

もう60年も昔にならうか。小学校4年生か5年生の頃、雪の下からニョキッ、ニョキッと頭をもたげて来るフキノトウやアサツキなどを摘んで食卓に飾ったこと…。それを、お袋さんに大変ほめられたこと…。春はほろ苦く、楽しい思い出と共にやってきたようです。

第3回 岸部地区の文化財・史跡 探訪と 市立博物館 春季特別展「ふしぎ探検～足とはきもの」

日時：平成17年5月14日（土）9：30～15：00（雨天決行）

集合：JR岸辺駅改札前

参加費：会員500円 非会員600円（博物館 特別展観覧料を含みます。）

申込み：先着30名（5月12日（木）までに 大越 TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697 へ）

探訪コース：岸辺駅→大光寺（国の登録文化財の太子館見学）→中西邸（国の登録文化財）→小路道標
亀岡街道→七尾瓦窯跡（国指定史跡）→吉志部神社（国の重要文化財）→吉志部瓦窯跡（国
指定史跡）→紫金山公園→（昼食）→市立博物館（春季特別展「ふしぎ探検～足とはきもの」
見学と体験）→解散（歩行距離 約4km）

（各自お弁当持参下さい。岸部駅にコンビニ、紫金山公園前にとんかつ専門店があります。）

<<見所>>

- ・大光寺：境内の太子館は、聖徳太子を顕彰するため、昭和13年(1938年)に建てられた和洋折衷のお堂。
- ・中西邸：武家屋敷のような立派な長屋門をもつお屋敷です。赤穂浪士のロケにも使われました。
- ・七尾瓦窯跡：726年に聖武天皇が後期難波宮の板葺き屋根を瓦葺きに変えるため造った官営瓦窯跡。
- ・吉志部瓦窯跡：794年に桓武天皇が平安京を造営した際に、開窯された大規模な官営瓦窯跡。
- ・吉志部神社：拝殿の奥の本殿は慶長15年(1610年)の建築で、檜皮葺七間社流造の立派なものです。
- ・市立博物館 春季特別展「ふしぎ探検～足とはきもの」：

実演・体験・講演会・ワークショップとイベント満載の、開館以来はじめての大規模な特別展です。

「昔のはきもの・珍しいはきもの」の展示や「はきもの体験ゾーン」での体験のほか、探訪日には
下記の催しがあります。（市立博物館 春季特別展「ふしぎ探検～足とはきもの」チラシ参照）

- ①体験「コンピューターで足を測ろう」
- ②講演 14：00～「足・靴・歩行とリフレクソロジー（理論と実際）」
- ③体験「足のおしゃれ ジェル・ネイル」

第4回 万博35周年 日本庭園と国立民族学博物館見学

日時：平成17年6月11日（土）9：30～15：00（雨天決行）

集合：万博記念公園 自然文化園中央口改札前

参加費：2500円（入館料、入園料、日本庭園はす庵での昼食代を含みます）

申込み：先着20名（6月8日（水）までに 大越 TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697 へ）

見学順序：中央口→太陽の広場→「信天翁2世号」（世界一周した最小のヨット）→平和のバラ園→
日本庭園（見学後 日本庭園内の「はす庵」で昼食）→国立民族学博物館→解散
（解散後は自然文化園などで、自由にお楽しみください。）

<<ご参考>>

- ・日本庭園：1970年の万国博覧会に政府出展施設として、日本の造園技術の粋を集めて造られた庭園です。26万平米の世界一の日本庭園です。日本庭園ガイドボランティアに案内いただきます。
- ・国立民族学博物館：大学の共同利用研究機関として設置された研究博物館です。民族学(文化人類学)の調査・研究の成果を広く人々に紹介し、人類についての知識と理解を深めることを目的に1974年に設置され、1977年に開館しました。民族学博物館としては世界的にも有数の博物館です。
- ・「はす庵」での昼食：万葉時代の食文化を現代に再現したご膳を召し上がっていただきます。

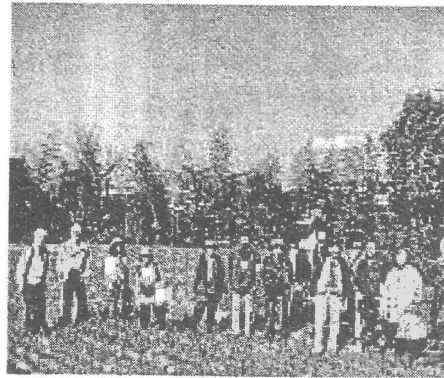
生きもの委員会

(連絡先 平軍二 ☎6877-0648)

すいた市民環境会議はスタートした97年に、古木・大木調査に取り組んだことを皮切りに、毎年新しいテーマで吹田の自然を調べてきました。当初は会全体として、その後は生きもの委員会を中心となった調査テーマは下記のとおりで、マップなどの成果物で報告しています。



①古木・大木調査	1997年
②ツバメの巣マップ	1998年
③ため池マップ	1998年
④四公園の生き物	2000年
⑤街路樹マップ	2001年
⑥鎮守の森調査	2002年
⑦吹田版七草調査	2004年



まちなみ委員会



すいた市民
こんなことを
いっしょにや

吹田の未来を一緒に考えてみませんか。楽しいまち歩きや文化施設の見学会なども企画・催行しています。

平成17年度は下記のような活動を予定しています。

1. 文化があふれる吹田を目指して

～吹田の文化施設を知ろう！ 紹介しよう！～

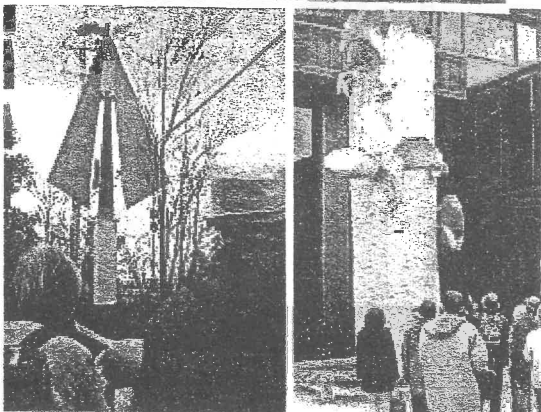
「吹田市内の文化施設探訪」春4回、秋3回開催します。

2. まちづくりに関係する情報交換や研修会を実施しています。

・定例会：毎月1回第3（または第2）水曜日午後7時から
市民会館5階活動支援室で開催しています。

・研修会：古いまちなみのまちや、まちづくり活動の活発なまちを見学し、市民団体などと交流します。

連絡先：松岡 TEL/FAX 06-6384-8168



生活環境委員会

「なんだかこのごろの気象つて変だ!」と思いませんか。地球温暖化(気候変動)が始まっています。2月、京都議定書が発効し、日本も温室効果ガスを削減しなければなりません。そのために何ができるか、私たちはそれを考え、実行していく委員会です。



●自然エネルギーを吹田に!
集まれ!
太陽の塔をまぶしがらせてみたい人
作りましょう 市民共同発電所!
すいたグリーンファンド立ち上げ



「ここで会いたい
点灯までたのしみたい
次になげたい
話したい」



●行政と協働で環境マネジメント
〔環境家計簿〕に取り組んでいます。
無理はしないで無駄を省く!

●親子で楽しくエコ・エコクッキング
購入から廃棄まで「食」と「調理」を通じて
楽しく環境を学ぶ出前講座をしています。

(連絡先 喜田久美子 ☎6330-0305)

環境会議は
やっています
りませんか?

学習・研修委員会

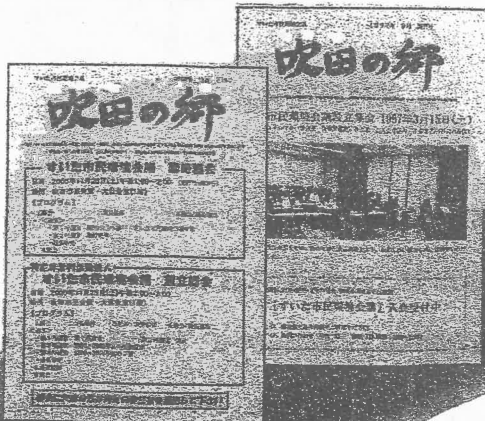
まちづくり・環境問題についての学習会、
研修会を企画・実行しています。市や公民館、
企業などに環境講座などの企画提案
を行っています。

企業との協働企画・紙すき講座 →



(連絡先 高畠耕一郎 ☎6877-5249)

会報 吹田の郷



年6回会報を発行し、
会の活動や環境情報を紹介しています。

ワープロのできる人
パソコンのできる人
イラストの書ける人
校正・文章に興味ある人

おてっただいだけませんか。

(連絡先 山本富雄 ☎6832-6277)

すいた市民環境会議は3月に吹田貨物駅環境影響評価書について意見書を提出しました。その全文を掲載します。

この文書の他に、市長と市議会議長宛に要望書を提出しました。その内容の要点を文末に掲載します。

【はじめに】

すいた市民環境会議（以下、当会）は2002年3月20日に吹田貨物駅（仮称）建設事業の環境影響評価準備書（以下、準備書）についての意見書を提出しました。そして2002年11月29日には公聴会で「すいた市民環境会議」の意見を述べました。

今回の吹田貨物ターミナル駅（仮称）建設事業に係る環境影響評価書（以下、評価書）にはその項目に対する事業者の見解が記されています。しかし公聴会で述べた内容に対して事業者の見解が記載されていないことは残念です。

これらを踏まえ、すいた市民環境会議から評価書についての意見を述べます。また環境影響評価の範疇を超える意見も述べますが、これは事業者に対する意見であるとともに、吹田市長に対する意見でもありますので、環境審査会委員各位にも十分なるご理解を賜りたいと考えています。

【1】当会は当初から「吹田貨物駅から西進する自動車専用道は南清和園に出ることなく西進しつづけ、神崎川を渡って庄内新庄線に降りること（文末図・点線ルート）」を提案してきました。

今回の評価書では当会の提案に対する事業者の見解で、吹田貨物駅に出入りする貨物関連自動車の運行経路については、基本協定書第2条第3項において「吹田貨物駅に出入りする貨物関連自動車の運行経路は、国道423号線から都市計画道路庄内新庄線、十三高槻線及び貨物専用道路を經由して、吹田貨物駅に至る経路を基本とする」と定めており、これを遵守すると記載しています（評価書503頁）。つまり当会の提案を「基本協定書を遵守する」という理由で却下しています。

評価書にある貨物関連自動車の運行経路は平成10年（1998年）9月20日に内本町コミュニティセンターで開催された当時の鉄建公団・JR貨物の「貨物駅住民説明会」で説明を受けた時と同一です。当時の貨物関連自動車道案は高架道路でありました。当会はその説明会で「南清和園で十三高槻線に出ず、そのまま神崎川を渡ることができないか」と質問しました。その時の事業者からの回答は「神崎川を渡るには高架道路の橋脚を設ける必要があり、一級河川に新たな橋脚設置は河川管理上、法的にも困難である。」というものでした。

しかし平成13年（2001年）12月に提出された準備書では、4本ある貨物鉄道線路のうち一本を廃線としそこに平地で走る貨物関連自動車道路を設けるものになりました。当会は「貨物線が一本廃線されるのならば、神崎川を渡る現存する鉄橋を貨物関連自動車が通行することが可能となる」と考え、準備書に対する意見書で、上記「吹田貨物駅から西進する貨物関連自動車道路は南清和園に出ることなく西進しつづけ、神崎川を渡って庄内新庄線に降りること」を提案したのでした。

その回答が「基本協定を遵守する」ということでした。しかしそれではアセスの基本である「状況の変化に対応」しているとは言えません。

回答の根拠とした基本協定では「現存の貨物鉄道線路を廃線とし、貨物関連自動車道路にする」ことは検討されていなかったからです。

基本協定第8条第2項には、この協定に定めのない事項又はこの協定に関して疑義が生じたときは、大阪府、吹田市、摂津市、鉄道公団及びJR貨物が協議の上、これを定めるものとする」とあります。

当会からの案のように「新たな橋脚を建てることなく、現存する鉄橋で神崎川を渡る」という、協定に定めない事項が提案されたのですから協議の再開をお願いします。その際、大阪市も協議に入っていただきたく必要が生じましょう。なぜならば東淀川区で新たな道路取り付け工事が必要となりますから。

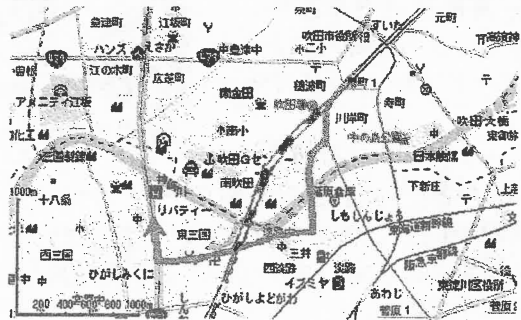
しかし基本協定書第1条第5項で「JR貨物は、梅田貨物駅に残る貨物については、大阪市内で取り扱うものとする」としているのですから、当事者の大阪市が協議に参加することは必定と考えます。

【2】2002年11月29日に公聴会で「すいた市民環境会議」の意見として述べた「貨物専用道路のうちJR吹田駅付近を地下道にせず踏切にする」という提案（評価書566頁、下から13行目）に対する回答がありません。繰り返しますが、この部分に踏切を設けても、通過する自動車の運転手は初心者を含む不特定多数の人ではなく、踏切事故の発生確率は限りなくゼロに近いであろうと考えられます。ここを踏切にすればトンネルでの坂道がなくなり自

動車からの排ガスは減少し、かつ工事費用が大幅に削減されるはずですが。その場合踏切ではメロッド住民などへの配慮から警報音は用いず、光や電波などで運転手に警報を知らせる手段を採ってください。

事業者も敢えて吹田市民に環境負荷をかけることは望んでおられないと確信します。

このように吹田の環境に負荷をかけず、しかも二カ所のトンネル工事の必要がなくなることにより工事費が安くなる(であろう)当会の案を受け止め、協定内容を再考していただきたく考え、当会の意見書とします。



市内を走行(実線)しなくとも、既存の線路敷地(点線)で神崎川を渡り新御堂筋に向かうことは可能である。

市長と市議会議長宛の要望書の要点を掲載します。

〈要望主旨〉

- 1) 大阪府やJR貨物などとの5者による基本協定の協議を再開してください。
- 2) 目俵町にある現在のJR西日本吹田工場を、新設される吹田貨物駅(仮称)の北側にもってくるよう交渉してください。

〈理由〉

1) 高架道案が地平案となった現在、既存の鉄橋で神崎川を超えることができます。貨物自動車は敢えて南清和園町から市内に出る必然性はありません。基本協定第8条第2項(この協定に定めのない事項又はこの協定に関して疑義が生じたときは、大阪府、吹田市、摂津市、鉄道公団及びJR貨物が協議の上、これを定めるものとする。)に従い再協議を開催してください。

2) 吹田市と摂津市のまちづくり可能用地として予定されている部分は細長く、まちづくりには不向きです。現在のJR西日本吹田工場を貨物駅の北側に移設できるものなら、JR西日本吹田工場跡地は市民の絶好の憩いの場になるでしょう。

〈解説〉当初は高架道路の案だったので苦肉の策として南清和園町に道路が出てきました。しかし地平案なら、線路をはがした道をそのまま東淀川区まで進むことができ、トラックが吹田の市街地を走ることはなくなり、市南部の安全・安心にこの上ない寄与をします。しかも、東海道線の地下にトンネルを作る必要もなく莫大な経費が削減できます。

ミスタードーナツ、スキルチュール江坂見学記

津雲台 彦坂 利久

【集合場所は】

今回の集合場所は御堂筋線の江坂駅の北西にあるダスキン本社ビル2階自由空間でした。ここには岡本太郎の陶版画の大作(みつめあう愛)が壁一面を飾っていて、探訪主催者が参加者に紹介したいという思いの場所です。江坂の土地はバブル期に坪3千万円と言われましたが、そこにゆったりとした立ち入り自由な空間を設けているダスキンさんの余裕を感じます。

ここから稲荷神社境内や高川の堤防を歩きながら芳野町にあるミスタードーナツカレッジにやってきました。

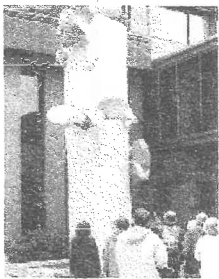
【ミスタードーナツカレッジで】

道路に面した正門の右側には「虹の鳥」と名づけられた鉄の矢尻形の風車が立っています。これはダスキン創業者の故鈴木清一氏の“祈りの経営”のシンボルだそうです。

大阪府みどりの景観賞や吹田市都市景観賞を受けた建物は木の風合いを活かし、各階の窓外には植樹があるなど、自然の優しさを醸し出しています。現在はミストの研究開発やダスキンの研修に使われています。

研修棟玄関前には石の風車が風で回る「感謝と祈りの塔」という初代会長をはじめ、創業以来ダスキンに尽力され、物故となられた方を偲ぶ慰霊碑があります。

研修施設には創業第1号の洗濯機を展示する記念



室や、ミスト接客実習の模擬店、ポストホールという名の講堂などを見学しました。全国の店長が2年ごとに70人ずつ1週間の研修に来て手作りドーナツで品質維持を図るなど、管理者教育に力を入れていると伺いました。

第1号の店長(勿論鈴木清一さん)をはじめとして3千人あまりの店長の名札を掲げた一角もあります。第2号はミスト総業者夫人のミセス・ウィノカーです。ウィノカー夫妻は鈴木清一さんの祈りの経営が同じ理念だと共感してダスキンをミストの日本総代理店に選んだそう、夫妻の胸像が研修棟玄関内に展示されています。



【スキルチュール江坂で】

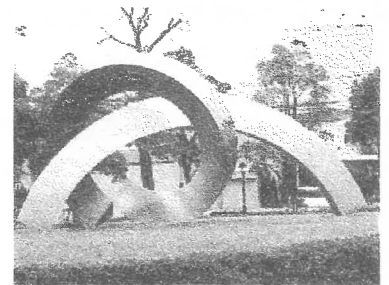
カレッジを出てすぐ近くの旧旭川紡績跡に広がるアメニティー江坂にある“彫刻の美術館”「スキルチュール江坂」を見学しました。

ここにはロダンや、通の人は知るヘンリムーアやマイヨールなどの彫刻が並んでいます。折角の文化財ですが、見学客は少ないようで、入館料だけでは独立採算は困難だとか。

スキルチュール江坂という名前では一度聞いても覚えにくく、美術館だとはすぐには理解出来ないのも問題かとも感じました。名は体を表わすという風になりませんかね。

名前はとも角、文化施設の維持管理は難しいものだと痛感します。

屋外展示には触ってもよいどころか踏んでもよいものがありました。何しろマルタ・パンという女性彫刻家の3つの彫刻を結ぶリーニユブランシュ(白い線)という作品が遊歩道を横切っていますから。



江坂テニスセンター内の通路には動物彫刻の小作品が並んでいました。

【お昼は翠園で】

アメニティー江坂内に紡績工場の建物を改装した中華料理店「翠園」があります。落ち着いて雰囲気、身なりがよいお客さんが似合っていました。

この豚刺しランチは大層美味しく量も多かったので満足しました。

【帰りは無料送迎バスで】

翠園の前庭の横から送迎バスが出て、アメニティー江坂内の施設を回って江坂駅まで送ってくれます。

ダスキンの創業の精神や研修の意気込みに触れ、彫刻の文化に接し、美味しい昼食も戴き、すっかり心豊かになった一日でした。

地球温暖化防止のために一人ができることは？！

会報委員 古谷・山本

5～6年前になりますが、石原東京都知事が真っ黒な炭素粉末の入ったペットボトルを振りかざしながら車公害について叫び、都の交通量を規制をすることをTVの前で熱く語っていたことがありました。

今、大企業も中小企業も二酸化炭素の排出量削減への努力に懸命です。

当会も「環境家計簿」「エコクッキング」など、早くから行政と「協調・共働の作業」も含め「太陽光発電」に至るまで、その取り組みは多岐にわたります。

では、私達一人一人にはどんなことができるのでしょうか。

第一回目は人の移動について考えてみましょう。

* * * * *

大阪府省エネライフ促進事業 2004年版の計算式

二酸化炭素 (g) = 電気使用量 (kwh) × 360

ガソリン使用量 (ℓ) × 2300

軽油使用量 (ℓ) × 2600 を用い単純計算し、まとめたものが下表です。

＜一人が1km移動する時の二酸化炭素の発生量＞

移動方法・条件	二酸化炭素量 (g)	計算の出拠
自転車 (時速 10km)	9.0	運動エネルギー28kcal
電動自転車 (時速 15km)	6.1 (人力部分)	運動エネルギー19kcal
	3.3 (電動部分)	1回の充電実測値は0.26kwhで28km走行
電車 (1車両に66人乗車)	12.0	1車両に66人乗車、1車両の消費電力量2.18kwh
徒歩 (時速 4 km)	17.0	運動エネルギー53kcal
自動二輪車	66.0	ガソリン1Lで35km走行
バス	75.0	15人乗車 軽油1Lで2.3km走行
乗用車	288.0	ガソリン1Lで8km走行

《脚注》(1) 米から運動エネルギー1kcalを摂取すると、農業機械の燃料、炊飯燃料、農薬の製造などに化石エネルギーも1kcal消費している。化石エネルギー1kcal分の二酸化炭素排出量は0.32gになる。

(2) 運動エネルギーの参考図書は『地球環境を土から見ると』122～125頁、松尾嘉朗ら、農産漁村文化協会、1990年

(3) 自動車と電動自転車については私の体験に基づいて条件を設定した。平地70%、上り坂15%、下り坂15% (ペダルを踏まない) と仮定した。走行時速に信号待ちを含まない。

(4) 電車は小田急線のデータを使用。

(5) バスの走行距離は阪急バスと尼崎市バスに照会した。

例えば、あなたが“大阪ガンバ”の応援に「阪急吹田駅付近」から「万博公園」まで (直線距離なら約6km) 乗用車で出掛けたとすると、 $< 288 (g) \times 6 (km) \times 2 (往復) = 3,456 (g) >$ で、3.5kgの二酸化炭素を発生させることになります。これが100台・500台に膨れ上がると、大変な数字です。

もう一つ大阪府と国交省の実験を紹介します。(ただし、計算根拠は明示されていません。)

2004年11月の1ヶ月間、府内各地の企業や労組など14団体とバス・タクシーの利用者を含めた479人が参加した一朝日新聞の報道一取り組みです。府の (この取り組みのための) 専用ホームページに各人が1日に利用する車の種類・移動時間を入力してもらい、そこから算出した1日当りの二酸化炭素排出量やガソリン消費量を各人にメールで返信通知しました。返信通知後の車の利用状況がそれ以前と、どう変わったか回答してもらおうというものです。

結果は、参加者の車の利用回数平均は、外出10回当たり6.3回が5.6回となり、10%の減少というものでした。参加者全員の二酸化炭素排出総量は、10.1tが8.9tとなり、12%の減少という計算結果が出ました。

仮に、この取り組みを1万人が1年間続けたとすれば、杉の木47万本が1年間に吸収する量に相当する二酸化炭素が削減されることになるのだそうです。(大阪府国土交通省近畿運輸局が実験)

「一人一人の小さな意識や行動も、決して無力ではない」とは思いませんか？

❀ ❀ 開 花 前 線 ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀

❀❀ 秋山 こずえ ❀❀

この原稿が冊子に掲載され、会員の皆様のお手元に届く頃には“さくら前線”は北海道へ到着しているのではないかと思います。あえて「日本人とさくら」を取り上げてみました。

日本人ほど“桜”を愛している国民はないでしょう。その開花を待ち焦がれ、散り行くわずかな時間を花とともに遊ぶDNAを持っているようです。そして衣、食、住にその花を取り入れています。

千本桜で有名な吉野山の景色を「照らず降らずの花ぐもり」と形容したり、桜は満開だが空気は冷え冷えしているとき、「今日は花冷え…」の言葉が交わされます。

福井県三方五湖近くの鳥浜貝塚からは、縄文人が使ったとおもわれる弓に桜の樹皮が巻かれて発見されています。日本人と桜との付き合いは5000年以上も前から始まったことになります。

西行法師は「願はくば花の下にて春死なん そのきさらぎの望月のころ」と歌い、梶井基次郎は「桜の樹の下には…」と書いています。桜は神の依代のおもむきがあります。

私の友人の家には桜の大木が何本もあり、それが咲き始めると、庭で桜の御膳をいただくのが常です。一期一会、大切は時間です。が、それだけではないものを私は感じています。“勇壮な力に包まれている”というのか、空気は冷たいものですが清々しい心持ちになります。友人はこの家に嫁いでから、桜の塩漬けを家宝のように作り続けています。私もそんな友人を真似て桜の塩漬けを作り始めました。“桜湯”“桜ご飯”和え物など重宝します。

日本列島をみなみから北へ淡いピンクに染めて行く桜(ソメイヨシノ)前線は、気象庁によってその開花が発表されます。

私達の祖先は自然といつも隣り合わせで暮らしていました。私達にも花を賞でる習慣があります。次世代にも“日本人の遊び心”を伝えていきたいですね。

花・開花前線

つばき	12月中旬～	4月下旬
たんぽぽ	1月下旬～	5月上旬
ソメイヨシノ	4月初旬～	5月中旬
ノダフジ	4月初旬～	5月下旬
アジサイ	5月下旬～	7月初旬
サルスベリ	7月下旬～	8月下旬
ヤマハギ	7月中旬～	9月下旬
ススキ	* 8月中旬～	9月下旬
イロハカエデ	10月初旬～	11月中旬
イチョウ	* 10月下旬～	11月下旬
イロハカエデ・イチョウ	=紅葉前線	

*=北から南へおりてきます。



❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀ ❀

《編集後記》

人住まぬモデルハウスの煌煌と昼を^{とも}点して仕合せごっこ

石橋好子氏の歌です。今、世の中は二酸化炭素の排出量削減で懸命なのに、明るい昼の時間から煌煌と灯を点している……。不動産関係の方には叱られるかも知れません。販売を担当する立場になればやむを得ないディスプレイなのでしょうが、一人の歌人には「仕合せごっこ」と写るのでしょうか。

私たちの法人も、近々総会を迎えます。一年の足跡をじっくりと見直して次の一步を考えるけじめの時としたいものです。

「ごっこ」にならないために皆で少しずつ汗をながしましょうか。

(編集長)